



新年の門出を市民とともに 令和8年新年祝賀会

1月5日(月)、シャボン玉石けん くくる糸満で令和8年新年祝賀会が盛大に開かれました。式典で當銘市長は「市民目線・対話重視の市政運営に取り組んでいきます」と新年の決意を述べました。当日は、叙勲・褒章受章者9人も出席し、記念品を贈呈。式典終了後は糸満市文化協会による「かぎやで風」で懇談の部がスタート。出席者らは、名刺交換やあいさつを交わしました。



新春の風を受けて 第55回糸満市新春マラソン

西崎陸上競技場を発着点に、第55回糸満市新春マラソンが1月11日(日)に開催されました。同大会は、健全な心身の育成やスポーツ振興などを目的に開催されています。当日は、寒さが厳しい天候ながら小学1・2年生の部を皮切りに、中学生男子や壮年の部など11種目に総勢450人のランナーが出場。家族や仲間、沿道の観客から声援を受け、多くのランナーが笑顔でゴールしました。



津波時における一時避難施設としての使用に関する協定締結式

糸満市 琉球ホテル&リゾート 名城ビーチ



市民の命をつなぎ止めるため 一時避難施設としての使用に関する協定締結

1月13日(火)、市役所で糸満市と琉球ホテル&リゾート 名城ビーチが「津波時における一時避難施設としての使用に関する協定」を締結しました。同協定は、津波警報などが発令された際、近隣住民や観光客の命を守るために避難場所としてホテルの施設を使用することを目的に締結。後藤康総支配人は「発災時に向けて市民のために準備できることを光栄に思います」と話しました。



明るい地域へ 民生委員・児童委員新役員報告と感謝状贈呈

3年に1度の民生委員・児童委員の一斉改選に伴い、糸民児連臨時総会にて新役員を選出。1月16日(金)に新役員らが市役所を訪れて、當銘市長から委嘱状が手渡されました。また、今年度で民生委員を退任する人に対して、感謝状を授与。當銘市長から感謝状を手渡された金城容子さんは「地域の方々に支えられ、皆さんと活動できたことを誇りに思います」と話しました。

糸満らしさ全開のロゴが完成 第6回いとまん平和マラソンのロゴが完成

3月15日(日)に開催される第6回いとまん平和マラソンの参加賞に使用されるロゴマークをデザインしたHANZA ART WORKSの波平正也代表がロゴマーク完成報告のため、12月23日(火)に市役所を訪れました。波平代表は「デザインの中には、糸満を代表する大綱引きに糸満の形を装飾し、靴の底にミンサー柄を入れて遊び心があるようなイメージで描きました」と語りました。



プロの世界へ挑む 巨人ドラフト3位指名の山城京平投手が表敬

12月25日(木)、読売ジャイアンツからドラフト3位指名を受けた、山城京平投手が市役所を訪れ、當銘市長に入団を報告しました。高嶺小学校2年生の時に軟式野球を始め、高嶺中学校、興南高校、亜細亜大学へ進学。山城投手は「自分らしく大きく自信をもって、糸満市のために貢献できる選手になれるように頑張りますので、応援よろしくお願いします」と意気込みを語りました。



市場で初競り 2026年初競り

1月5日(月)、糸満漁港北地区のイマイユ市場で、2026年の初競りが開かれました。5時30分に初競り開始を告げる鐘の音が鳴り響くと、競り人の威勢の良い掛け声が市場を活気づけ、仲買人たちが並べられた鮮魚を次々と競り落としていました。一番競りのメバチマグロを競り落とした松村憲人さんは「水揚げも良く、今年1年水産業が盛り上がってほしいと思います」と話しました。



新たな1年の幕開け 令和8年年始式・新春の宴

1月5日(月)、令和8年年始式を市役所南側広場で行いました。當銘市長は「まちづくりの担い手として、積極的に市民とふれあい、声に耳を傾け、地域に根ざした協働のまちづくりを実践していただきたいです」と職員に対し訓示を述べました。式終了後は、市民ホールで糸満市文化協会による新春の宴が催され、かぎやで風や琉球舞踊など華やかな踊りと音色で新年の幕開けを彩りました。

